

平成27年度第6回中仙地域協議会会議録

平成28年 3月28日

中仙地域協議会

平成27年度第6回中仙地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	3
■会議録署名委員の指名	4
■報告	4
(1) 平成28年度中仙地域主要事業について	4
(2) 平成27年度地域枠予算実績見込みについて	8
■協議	9
(1) 平成28年度地域枠予算執行予定事業について	9
■その他	12
(1) コミュニティポイント制度参加団体の推薦について	12
■閉会	14
■署名	15

■日 時：平成28年3月28日（月）午後2時

■会 場：中仙支所2階 第21会議室

■出席委員：11名

遠藤 まき、金子 美喜男、草薙 幸隆、児玉 誠良
高橋 一、佐々木 亨、佐々木 正一、柴田 真希亜、
高橋 成悦、玉井 勝壽、傳農 富士夫、

■欠席委員：7名

秋山 康、熊谷 亮、高橋 泉、高橋 久逸
寺田 文夫、松塚 勝男、柳田 トシ、

■出席職員：8名

高橋 利省（中仙支所長）	伊藤 政子（市民サービス課長）
佐藤 吉一（農林建設課長）	草薙 栄良（中仙公民館長）
板先 日登美（健康増進センター東部参事）	伊藤 みゆき（地域包括支援センター東部参事）
山信田 恭弘（地域活性化推進室副主幹）	進藤 哲規（地域活性化推進室主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 報 告
 - (1) 平成28年度中仙地域主要事業について
 - (2) 平成27年度地域枠予算実績見込みについて
- 6 協 議
 - (1) 平成28年度地域枠予算執行予定事業について
- 7 その他
 - (1) コミュニティポイント制度参加団体の推薦について
- 8 閉 会

(午後2時00分 開会)

○事務局(地域活性化推進室) 開会を宣言

○傳農中仙地域協議会会長(以下「会長」と表記)

3月に入り三寒四温の天気が続きまして、春爛漫が待ち遠しい状況でございますけれども、ここ数日は好天気が続きまして、やっと春らしい天気となりました。本日は年度末をひかえ公私共にご多忙中のところ、会議にご出席くださいますとありがとうございます。

先般、東部地区の地域協議会研修会が太田地区主催で開催されました。わらび座におきまして大曲の花火物語のミュージカルを観劇してまいりました。素晴らしいものを見せていただき、感動しました。その後、中里温泉におきまして交流会が開かれました。当地区からは支所長はじめ職員、委員の皆様あわせて10名参加いたしました。参加いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

今日は本年度最後の協議会になるわけでございますが、この1年間皆様から色々な面でご支援ご協力いただきまして大過なく過ごさせていただきました。重ねて、厚く御礼申し上げます。

今年度の地域枠予算につきましては、約95%の執行率ということで30万円ほど余ったような状況でございます。我々はまだ任期が1年あるわけでございます。皆さんはそれぞれ地域の代表、あるいは団体の代表者でありますので、その責務を自覚しながら積極的に参加いただきたいと思っております。いつも、ぎりぎりの出席者であるのが頭のいたいところですので、どうぞよろしく願いいたします。

先般、3月25日に大仙市の地域協議会連絡会議がございまして、私と佐々木副会長が出席させていただきました。新年度に入りましたら皆さんにご報告があると思っておりますが、第2次大仙市総合計画基本構想が出来上がりました。議会の承認を得たとのこと。この中で大仙市の人口ビジョンが説明されました。現在我が市は、約85,000人の人口でございますが、10年後の平成37年には約70,000人、45年後の平成72年にはなんと現在の半分の約37,000人になるという想定であることが説明されました。市の構想を見てみますと、平成37年には自助努力により74,000人程度にとどめたいということでございます。その対策としては結婚の促進や出生率の向上、長寿社会の維持などが考えられているわけでございますが、いずれにしても大変な時代に直面したということでございます。今後、皆さんから良い知恵を出していただきまして、活気のある大仙市にしていきたいと思っております。

この後、支所長からも報告があらうかと思っておりますが、先般、新聞を見ておりました市の人事異動が発表されておりました。目に付くところでは伊藤市民サービス課長さん、農林建設課山田参事さんが退任なされるようでありました。地域協議会としても様々なご意見をいただきました。この場をかりて厚く御礼を申し上げたいと思っております。

本日は平成28年度の支所主要事業、地域枠予算等でございますが、皆さんからご審議をいただき、スムーズに終わられるようご協力をお願いしたいと思います。開会にあたり、

一言ごあいさつを申し上げました。ありがとうございました。

○高橋中仙支所長（以下「支所長」と表記）

本日はご多忙のところご出席いただきましてありがとうございます。

本日、審議に入ります前に中仙支所管内の現在の状況を報告も含めまして説明させていただきます。

はじめに、これまでご承認いただいております地域枠予算の状況についてでありますけれども、前回、第5回協議会で継続中として報告いたしました2事業と、そのときに承認されました3事業のうち、4事業が終了しております。これでご承認いただいた全23事業のうち、継続中は1事業となりましてこちらも支払い処理を残すのみとなっております。

次にその他の事業について報告いたします。

はじめに消防団の再編についてであります。大仙市消防団は旧8市町村の消防団を引き継ぎ、師団制を採用してスタートしておりましたが、慢性的な団員不足や組織ごとに機構や階級制度が違うことなどから不公平感をうむ要因となっております。このため、団員の定数を1,691人から316人減らしまして1,375人に改正するほか、中仙地域で31あります班を16班に再編して4月1日から施行します。さらに全ての班に積載車付の小型動力ポンプを配置することとなっております。

次に2月25日から3月18日までの会期で第1回定例会が開催されております。市長の市政方針演説の中から何点かご紹介したいと思います。

一つ目は、大曲通町地区第1種市街地再開発事業で完成しました「大曲ヒカリオ」、大曲厚生医療センターの周辺一体でございますが、これまで「秋の実りフェア」は市役所大曲庁舎の周辺で行ってございましたけれども、今年から「大曲ヒカリオ」を主会場に開催することになっていきます。

二つ目は、旧大曲仙北地方卸売場の跡地を利用して、JA秋田おぼこがファーマーズマーケットの複合施設整備を計画しております。平成28年度の着工・完成を目指しております。地産地消を推進する施設として期待しております。

三つ目は企業誘致についてであります。東長野工業団地に進出しております大仙物流ですけれども、隣接地にさらに増設することで調整を進めております。大仙物流によりますと、今年の秋に収穫される米から入れることができるよう倉庫を建設することによって、現在の倉庫と同じものが建つこととなります。

四つ目は、ごみの減量化についてであります。4月より、これまで燃やせないごみとして処理しておりました使用済みの蛍光灯、乾電池、水銀体温計、水銀血圧計など水銀を利用した廃製品については、法律の施行により分別回収をすることになりました。回収方法ですけれども、本庁支所の各庁舎に専用の回収ボックスを設置しております。これまでのように燃やせないごみとして集積所に出しますと収集されませんのでご注意をお願いいたします。

五つ目は道路補修に関してです。新年度、パッチング補修を行う直営作業班を増設し補修をスピードアップする予定です。この直営班の1つが中仙に配置される予定であります。

予算は本庁直轄ですけれども、補修が進むことが期待されます。また、この定例会ですが、当初予算の審議が大きなウェイトを占めております。平成28年度当初予算は、一般会計ベースで約456億円ということで原案どおり採決されております。このうち中仙地域の主要事業につきましては、この後、担当部署より説明させていただきますのでよろしくお願いたします。

以上ご報告申し上げまして、委員の皆様には今後とも様々なご助言やご指導を賜りたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

○事務局（地域活性化推進室）

それでは協議に入りたいと思います。

本日の協議会は委員の2分の1以上の出席をいただいておりますので、本協議会は成立しますことをご報告いたします。

それでは、会議の進行につきましては条例の規定により傳農会長にお願いいたします。

○会長

それでは次第4の「会議録署名委員の指名」ですが、今回は児玉誠良委員と高橋成悦委員にお願いいたします。

それでは次第5の「報告」に入ります。

はじめに（1）の「平成28年度中仙地域主要事業について」市より報告をお願いします。市民サービス課長から順にお願いいたします。

○伊藤市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

佐藤農林建設課長（以下「農林建設課長」と表記）

支所長 ※地域活性化推進室長

草薙公民館長（以下「公民館長」と表記）

伊藤地域包括支援センター東部参事

板先健康増進センター東部参事

資料に基づき説明。

○会長

ただいま中仙地域の主要事業について説明していただきました。皆さんからご意見を賜りたいと思います。

はじめに市民サービス課関係について、ございませんか。

○草薙幸隆委員

先ほど放課後児童クラブにつきまして豊成地区にも整備するとのことでしたが、具体的な計画があるのであれば教えてください。また、資料12番の地域農業総合管理施設、こ

めこめプラザのことですけれども、おかき工場の跡地利用につきましても教えていただければと思います。

○市民サービス課長

放課後児童クラブの豊成地区の件についてですが、2月末に希望者に平成28年度の決定通知書を出しまして人数が確定したのが2月末でした。去年まで1年生は16人の利用でした。ところが今年は36人の利用状況です。1年生が増えることにより、指導員を増やさないといけないということもありまして、9名の方は待機ということをお願いしております。9人のうち2人はお父さんが求職中ということで、もし仕事が見つければすぐに受け入れが必要になります。このような状況で、今後も利用が増えることが想定されるため、3月になって急遽、豊成地区への設置の話がでてきているところです。本庁のほうからもぜひ検討すべきではないかという話がでたところで、具体的にはこれからになります。場所については、こちらの希望としては豊川小学校か豊岡小学校のどちらかに豊成地区の放課後児童クラブを作りたいなということで、今後協議したいと考えております。

○農林建設課長

おかき工場の件についてですが、工場は国の補助金で作られています。建物もそうですし、中のおかき製造機械も同じです。県のほうからはまず、跡地をどのように使いたいかを提示してくださいと言われております。それを国にあげて「いいですよ」ということになれば補助金の返還はないのですが、まったく別のものになるとすれば補助金の返還ということが考えられますので、補助金の返還がないような形での利用をという指導を受けています。どのように利用するにしても国県との協議・調整が必要ですので、時間がかかるのではないかと思います。

○会長

ほかにございませんか。

○玉井勝壽委員

自治会育成支援事業ですが、この予算額は平成27年度と変わらない額でしょうか。

○市民サービス課長

総予算としては6千円増えておりますが、補助基準そのものは同じです。

○佐々木亨委員

住民生活を守る上で必要な6番の交通安全対策推進事業と7番防犯対策事業について、内容が主に報酬のようですが、かなり予算額にひらきがあるのはなぜでしょうか。加えて14番の消防・水防・防災関係事業ですが、ポンプ置き場31箇所に対して積載車11台という内容ですが、これで31箇所すべてに積載車がいきわたるといえることでしょうか。

○市民サービス課長

積載車については、すべてにはいきわたりません。予算額の違いについては後ほど報告いたします。

○会長

ほかにありませんか。

(なし)

ないようですので、農林建設課関係をお願いします。

○草薙幸隆委員

ここから栗沢方面に向かう河川をまたぐ橋の前後がまだ仮設状態になっているわけですが、今年度も継続予算はあるのでしょうか。

○農林建設課長

今ある道路と、できあがった橋のセンターラインがずれていまして非常に不便をおかけしております。平成28年度予算でその部分に対応することになっていまして、すぐにかかりたいところですが、水路の移設もありますので、秋になってしまうと思います。それまで、盛り土などで危険のないような対応をしたいと考えています。

○草薙幸隆委員

橋の上り下りが危険なので、勾配を緩くするというだけでも対応いただければと思います。

○会長

ほかにありませんか。

○金子美喜男委員

アメシロの防除の関係ですが、去年は薬品を行政協力員を通していただきましたが、今年も同じでしょうか。また、薬品が足りない場合があるので対応いただけるでしょうか。

○農林建設課長

例年と同じような形でやる予定です。薬品が足りない場合については他からもってくるなどして間に合わせるよういたします。

○会長

ほかにありませんか。

○高橋成悦委員

集落街灯のLED化ですが、今年はどこを予定しているのでしょうか。

○農林建設課長

平成28年度で、計画している129箇所全てを終える予定です。

○会長

ほかにありませんか。

(なし)

ないようですので、地域活性化推進室関係をお願いします。

(なし)

ないようですので、中仙公民館関係をお願いします。

○草薙幸隆委員

3番の公民館管理費の分館のほうですけれども、各分館の運営管理費の内訳が記載されていますが、他の分館に比べて清水・鏑見内分館が高額ですが、なにか理由があるのでしょうか。

○公民館長

調べまして後ほど回答させていただきます。

○会長

ほかにありませんか。

○遠藤まき委員

1番のなかせん芸術文化祭に係る経費ですが、伝承文化保存経費が4小学校廃止となっていますが、去年ほどの程度の予算だったのででしょうか。

○公民館長

放課後子供教室という県補助金での対応に変わるということで、事業そのものがなくなるということではありません。

○会長

ほかにありませんか。

(なし)

ないようですので、地域包括支援センター関係をお願いします。

(なし)

ないようですので、健康増進センター関係をお願いします。

(なし)

最後に全体的なことではなにかありませんか。

○市民サービス課長

先ほどの交通安全対策推進活動と防犯対策事業の金額の違いですけれども、交通指導隊報酬は月額12,600円×14名×12ヶ月、防犯指導隊報酬は月額5,100円×8名×12ヶ月となります。

○会長

ほかにありませんか。

(なし)

ないようですので、次に(2)の「平成27年度地域予算実績見込みについて」事務局より報告をお願いします。

○事務局(地域活性化推進室)

資料に基づき説明。

平成27年度実績見込み 23事業(I型9事業、II型10事業、III型4事業)
実績見込み額 6,728,115円

○会長

ただいま事務局より地域予算の実績見込みについて報告がありましたが、皆さんからご意見等ございませんか。

○草薙幸隆委員

I型の最後の「ジャンボうさぎ着ぐるみ更新事業」ですけれども、前回、支出額の81万円が相場よりも高いのではないかという話をしたところでしたが、著作権等を含んでいるのかということも合わせて説明いただければと思います。

○農林建設課長

著作権等もすべて含めてという形ですけれども、本体の着ぐるみの値段が大半であると聞いております。

○佐々木正一委員

著作権そのものは支所にはないということでしょうか。

○農林建設課長

そのとおりです。

○草薙幸隆委員

関連してですが、着ぐるみを着てPRする分には経費はかからないということですか。

○農林建設課長

完成した着ぐるみを使用してのPRには経費はかからないはずで。

○会長

ほかにございませつか。

○佐々木正一委員

Ⅲ型の中仙八乙女会への補助金ですけれども、30万円という大きい金額が交付されています。他の余興舞台などに比べて高い金額ですが、なにか理由があったのでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

中仙八乙女会への補助金ですが、経費として一番大きいのが会場のドンパル使用にかかる照明・音響に係る経費になります。その経費があるために補助対象経費が大きくなり、補助金額が余興舞台等よりも高くなっているということになります。

○草薙幸隆委員

補足になりますが、以前、豊川の芸能祭に支援する際に、ドンパルの施設、照明関係を使用する場合には使用料を徴収することにして補助金が大きくなった経緯があります。

○会長

ほかにありますか。

(なし)

それでは次に次第の6「協議」に入ります。協議の(1)「平成28年度地域枠予算執行予定事業について」を議題とします。本日の案件は「ジャンボうさぎお披露目事業」1件のようでございます。農林建設課長より説明をお願いします。

○農林建設課長

資料に基づき説明

【地域枠予算事業】

・実施類型Ⅰ型

1. ジャンボうさぎお披露目事業

担当課 農林建設課

事業目的 中仙地域で特有の秋田改良種日本白色種（通称ジャンボうさぎ）を観光及び特産として発信するため、桜まつりの開催に合わせた「ジャンボうさぎお披露目事業」を実施する。桜まつり期間中、県内外から大勢人

が集う道の駅なかせんでふれあいの場を提供することにより、ジャンボうさぎを広く知ってもらおうと同時に10月開催の全国ジャンボうさぎフェスティバルのPRを図る。

- 事業概要 ○日時 平成28年4月29日(金)、5月3日(火) 2日間
午前10時～午後3時
- 場所 道の駅なかせんイベント会場
- 内容 ・中仙地域総合畜産振興会小家畜部会員によるジャンボうさぎ等の展示(8kg以上と3kg以下)
・リニューアルした「デカラビコちゃん」の着ぐるみ披露

事業費 64,440円

<内訳>

- ①賃金 $790円 \times 6H \times 3人 \times 2日 = 28,440円$
※午前9時30分～午後3時30分(準備片づけ含)
- ②賃借料 $6,000円 \times 3羽 \times 2日 = 36,000円$
※うさぎ借上料
- ①+②=64,440円

○会長

説明が終わりましたが、ご意見ご質問ございませんか。

○草薙幸隆委員

4月の協議会時などに、完成した着ぐるみを見せていただくことはできないでしょうか。

○農林建設課長

完成品はあるのですが破損防止のため分解して保管しておりますので、少し時間をいただきますがお見せできます。

○草薙幸隆委員

それであればまたの機会が結構です。

○佐々木正一委員

着ぐるみについてですが、ふなっしーのようにパフォーマンスといいますか動きをつけられるようになれば、子ども達にも人気がでると思いますので検討をお願いします。

○会長

ほかにご覧いませんか。

それでは本事業を承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご承認いただきました。ありがとうございました。
これまでの中でなにかご意見ございませんか。

○佐々木亨委員

平成27年度にがんばった自主防災組織について、どの程度組織化が進んでいるか教えてください。

○市民サービス課長

目標値まで届かなかったというのが現状で、3月22日現在で63%の組織率です。この数字は地区によってかなりの差があります。鏡見内地区は71%、長野地区が67%、鶯野地区が17%、清水地区が37%、豊川地区が95%、豊岡地区が84%となっています。組織化をお願いしてまわりましたがなかなか組織率が上がらないため、地区ごとに大きく防災組織を組織してもらおうかという話もできました。しかし、本庁に確認したところ、地区ごとに組織するとなるとせっかく現在防災組織を立ち上げてくれているものを一度解散しなければならないとのことでした。そうなりますと、せっかく高い組織率になっている地区にご迷惑をかけてしまいます。ですので、個人的にはそれぞれに地区の実情に応じてコツコツと組織率を上げたり、大きなまとまりを目指したりしてはどうかと思っています。

やはり中仙地域は災害が少ないというのが組織率が低い原因の一つだと思います。たまたま、昨年の災害の際、被害のあった金鏡地区には防災組織が立ち上がっていませんでした。その後、お願いして立ち上げてもらいましたが、なにもない状態だと必要ないという考えが定着してしまっているのかなと思います。

また今年も各地区をまわってお願いしたいと思っています。

○佐々木亨委員

やはり災害がないというのが一番じゃないでしょうか。私たちの年代であれば何回か災害を経験していますが、今の30代40代の人たちは経験がないのでピンとこないのだと思います。

○市民サービス課長

今後は、皆さんの意見をうかがいながら組織化の方法を検討する必要があると思いますのでよろしく願いいたします。

○玉井勝壽委員

施設があればそこを守る関係上、防災を意識するとは思いますが。

○市民サービス課長

皆さんやはり防災組織を難しくとらえてしまうのですが、一番は災害時に集落全員に必

要な情報が伝わる体制を整えることだと思います。

○佐々木正一委員

既に組織済みの集落であっても、住民に防災組織があるという意識はあまりないのではないのでしょうか。

○高橋一委員

私の集落では総会の際に防災組織についても話し合います。そこで組織しているという意識をもてるようにしています。

○草薙幸隆委員

私の集落では去年、自主防災組織を組織しました。思ったよりも手続きは簡単でした。また、みんなに組織化しているということを意識してもらうためにスタートアップ事業でいただいたヘルメットの足りない分を購入して各戸に配備しました。

○会長

まだご意見があるかと思いますが、一旦、次第の7「その他」に移らせていただいて、また後でご意見をうかがいたいと思います。

それでは、その他の(1)「コミュニティポイント制度参加団体の推薦について」事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

資料に基づき説明。

○会長

ただいま事務局より説明がありましたが、ご質問ご意見等ございませんか。

(なし)

ないようですので、次第にはありませんが事務局より地域枠予算の活用について説明があります。

○事務局（地域活性化推進室）

資料に基づき説明。

○会長

ただいま説明がありました。全体的にでも結構ですので、なにかご意見ございませんか。

○公民館長

先ほどのご質問についてですが、分館管理費において鍵見内分館が高い理由については

床暖房利用による燃料費ということでございます。清水分館につきましては移動式の消火器不備ということで、昭和50年製の消火器が2器ございまして当初は交換予定でありましたが100万円以上かかるということで、今回は薬剤とポンペを交換いたします。その経費がございまして高くなっております。

○佐々木正一委員

鐘見内分館は大変快適ですので、ぜひご利用いただければと思います。

また自主防災組織について、だいぶ組織率が低いということでしたけれども、ここに消防団の師団長さんがいらっしゃいますが、消防団の団員がいる地域は比較的、防災組織が作りやすいのではないかと思います。退任された方でもいいのでそういった方に引っ張ってもらおうというのはどうでしょうか。まったくの一般の方では防災というものに足踏みしてしまうと思います。

○児玉誠良委員

消防団についてですが、今の体制はこの3月31日で終わりです。4月1日から新しく今まで32隊あったものが16隊体制となります。長野、鶯野、清水、豊川、豊岡の5分団に分かれまして、今まで分団長1名、副分団長1名であったものが4月1日から副分団長2名体制となります。ポンプの数も少ないために協議いたしまして、積載車が3台配備されます。積載車を配備するにあたり、今の格納庫では入りませんので修繕で広げますが地権者との話し合いもありますので、実際に配備されるのは今年の10月になります。

○佐々木正一委員

加えてですが、美郷町などを見ますと「防災コミュニティ」と書かれた高い建物の中に積載車が入っていて防災グッズ等も収められているという拠点のような作りがされております。あのような手法はとれるものでしょうか。

○児玉誠良委員

中仙地域には様々なポンプ小屋がありますが、まだ「中仙町消防団」と表記されたままです。他の地域は「大仙市消防団〇〇師団」となっています。これについて10年来要望を続けましてやっと直すことになりましたが、予算が間に合わないということで修繕での対応ということになるようです。

○会長

ほかにございませんか。

○草薙幸隆委員

先週、市の地域情報化推進委員会がございました。主に情報発信の分野について協議していますが、経過等についてお話をさせていただきます。去年、開局したFMはなびにつき

ましては、当初、聞こえない地域が多々ありましたけれども電波等を増設するなどして協和地域の奥のほうも聞こえるようになりました。今年もいくらか増設して、ほぼ大仙市全域で聞こえるようになる予定ですので、地域活性化の情報発信ツールとしても活用できるのではないかと思います。あと、以前に防災ラジオの価格について聞かれたことがありましたが、試作品ができました。3月にテストを行い現在結果を集計中です。この試作品について、先日見せていただきました。防災ラジオということで、普段スイッチを切っていても自動的にスイッチが入って情報が流れるという仕組みになっています。それ以外には、FMはなびと秋田FM放送、FMのNHKの3局しか受信できません。予算の関係上、その他の局を受信できる装置が入ってないということのようです。普段はコンセントにつないで使っていればいいわけですが、乾電池を使うと3時間か4時間しかもたないということで、災害時に一番頭に浮かぶ停電時に3時間しかもたないというのはたしてどうなのかなど。今はまだ試作品なので今後改善はされると思います。このラジオは太田の北斗通信株式会社が製造元で、なるべく地元の会社をいうことのようにです。担当者から聞きますと1個あたりいただいた13,000円から14,000円になるのではないかとのことでした。

○支所長

防災ラジオの単価についてですが、2分の1補助になりますので実施7,000円くらいになります。

○会長

それでも高いような気がします。

○遠藤まき委員

もう少し、どのようなことを放送するのか、テレビの番組表のようなものがあればいいなと思います。先日、なかせんワイワイらんどの子どものインタビューの放送がありましたが、実際そこにいた人しかその放送があることがわからないので、少し発信が足りないのかなど。こういうことを企画しているとか放送しますとかいったことを、広報にたまに載る程度ではなくもっと発信すれば、聞く回数が増えると思います。

○草薙幸隆委員

委員会の中でも、どうしても縦割りになってしまい、横の連絡が不十分だと指摘がありました。

○会長

ほかにございませんか。

(なし)

本日は熱心に長時間にわたりご協議いただきありがとうございます。あいさつでも申


しましたが、我々は任期までまだ1年ございます。皆さんは地域の代表であり、団体の代表でありますので、ぜひ参加いただき活発に協議いただければと思います。

平成28年度の第1回目は4月25日の午後2時から予定しております、市全体の説明等があるようございます。後日、通知いたしますのでぜひご参加ください。本日はありがとうございました。

(午後4時13分 閉会)

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

高橋成悦 

田中誠良 